

番号	21	溜 ためいけ 浚渫記念		
所在地	唐津市相知町黒岩 黒岩溜池			
災害別	明治24年（1891）水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和11年3月（竣工）	
特記事項				

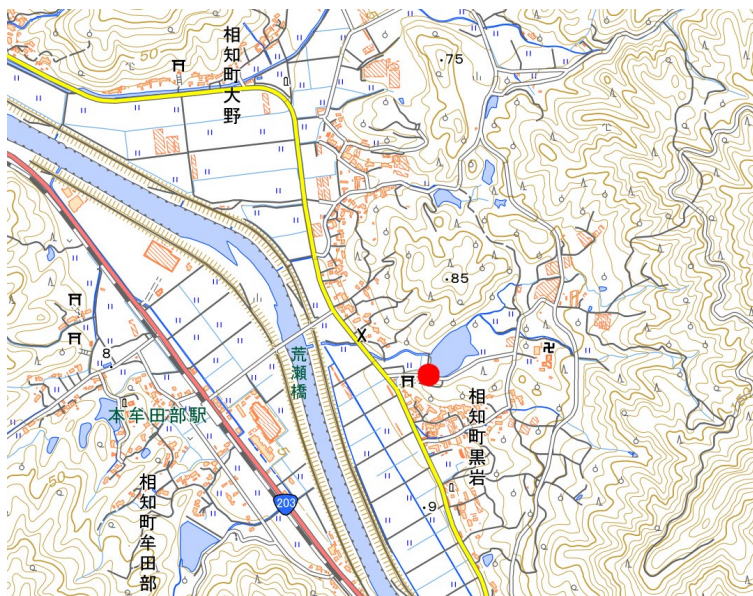
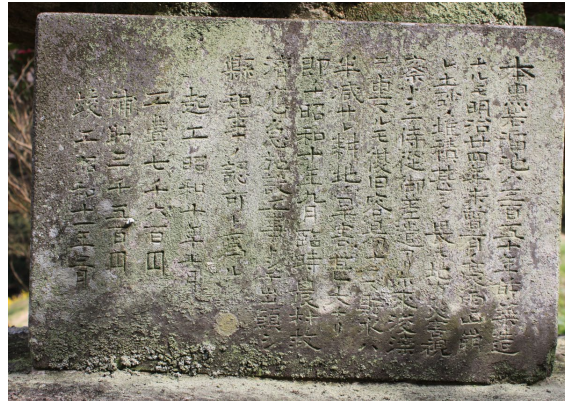


相知町黒岩の黒岩溜池の堰堤に立つ浚渫記念の碑。碑文に「明治24年の未曾有の豪雨」と記してあるが、明治24年7月21日の水害のことを指していると思われる。

7月21日の豪雨は大洪水をもたらし、相知を始め唐津方面に甚大な被害をもたらしている。「相知町史（下巻）」（相知町史編さん委員会編 昭和52年3月1日）によれば、午後から降り出した雨は夜中の1時頃大洪水となり、土場の石炭十万斤流失、松浦川は二丈余の増水、佐里では山崩れのため死者・障者二名、また、平山、本山、牟田部全域にわたり被害甚大で、中でも、坊中の惨状は溜池決壊や山汐のため田畑わずか二反を残すのみというありさまで、さらに唐津町も水浸しとなり、知事が視察に訪れた際は陸路を通れず相知から唐津まで船で渡ったと記されている。

碑には、「本黒岩溜池は三百五十年前築造なるも明治廿四年未曾有の豪雨に山崩れ土砂の堆積甚しく畏くも地方災害視察として侍従御差遣あり尔来浚渫を重ねるも復旧容易ならず貯水は半減され耕地旱害甚大なり 即ち昭和十年臨時農村救済應急施設工事として出願し縣知事の認可となる

起工 昭和十年七月 工費 七千六百円 補助 三千五百円 竣工 昭和十一年三月」
 (側面)「工事関係者等の氏名(略)」と記されている。(原文はカタカナ表記)



国土地理院電子国土 Web